

令和7年度 一般社団法人さいたまスポーツコミッション事業報告書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及び周辺地域にあるスポーツ資源や特徴ある観光資源を最大限活用し、各種競技大会等スポーツ関連イベントの積極的な誘致等の事業を通じて、地域のスポーツ機会を創出することにより、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(2) 概況

① 設立年月日 平成30年12月10日

② 基金 1億1,450万円

③ 実施事業

ア スポーツイベント等の誘致に関する事業

イ スポーツイベント等の運営支援に関する事業

ウ スポーツイベント等の実施に関する事業

エ スポーツ施設等の管理運営に関する事業

オ スポーツビジネスの創出に関する事業

カ 前各号の事業のほか、当法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数（令和8年3月31日現在）

会長 1人

専務理事 1人

常務理事 1人

理事 3人

監事 1人

(2) 令和8年3月31日現在の理事・監事

役 職	氏 名	就任年月日
会 長（代表理事）	遠 藤 秀 一	令和6年6月28日
専務理事(代表理事)	本 田 秋 満	令和6年6月28日
常務理事	佐 野 秀 彦	令和6年6月28日
理 事	平 岩 光 現	令和6年6月28日
理 事	田 口 誠	令和6年6月28日
理 事	原 博 実	令和6年6月28日
監 事	河 合 あゆみ	令和4年6月24日

3 理事会及び総会の開催

(1) 理事会

開 催 日 時	議 決 事 項 等
令和7年4月2日 (理事会決議事項の提案)	議案第1号 契約の締結について
令和7年5月22日 (第1回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第2号 令和6年度事業報告について 議案第3号 令和6年度決算報告について 議案第4号 定時社員総会の開催及び日程について 議案第5号 役員候補者の推薦について
令和7年6月24日 (第2回理事会)	議案第6号 契約の締結について
令和8年3月19日 (第3回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第7号 令和8年度事業計画について 議案第8号 令和8年度収支予算について 議案第9号 規程の制定について 議案第10号 役員賠償責任保険の加入について 議案第11号 契約の締結について 議案第12号 契約の締結について

(2) 社員総会

開 催 日 時	議 決 事 項 等
令和7年6月24日 (定時社員総会)	報告事項 令和6年度事業報告について 議案第1号 令和6年度決算報告について 議案第2号 理事の選任について

4 職員の状況

令和8年3月31日現在の職員

- ① プロパー職員 7人
- ② 契約職員 3人
- ③ 市派遣職員 6人
- ④ さいたま観光国際協会派遣職員 2人
- ⑤ 嘱託職員 2人
- ⑥ 企業出向職員 1人
- ⑦ 臨時職員 3人

5 事業の実施状況等

(1) スポーツイベント誘致・支援事業

① スポーツイベント誘致活動

各種スポーツ競技団体等に対して誘致を行った。

＜令和8年度開催予定大会数＞46大会 ※令和8年3月31日現在

② スポーツイベント支援活動

スポーツイベント開催助成金制度等による財政支援、広報・PR、各種資料・情報提供、行政機関への調整等、主催者の要望に応じた各種運営支援を実施した。

＜令和7年度支援大会数＞59大会

③ スポーツ合宿誘致活動

自主管理施設「Sフィールド」を活用したスポーツ合宿の誘致を行った。

＜令和7年度合宿開催数＞6団体：計28日間

④ プロモーション活動

スポーツイベントの誘致、スポーツツーリズムの促進並びに関係団体との交流拡大等を図るため、プロモーション活動を展開した。

- ・「第35回台湾国際快樂健行 出展及び現地旅行会社訪問」

期 間：令和7年11月8日(土)～11月9日(日)

会 場：台湾・台北市内

主 催：中華民国山岳協會 他、現地旅行社

内 容：さいたまーチPR及び弊社事業の紹介

⑤ 経済波及効果調査活動

スポーツイベント開催助成金を支出したイベントを中心に消費額アンケート調査による個別基礎調査を実施するとともに、スポーツイベントにおける経済効果額を推計した。

＜令和6年度経済効果推計額（令和6年4月～令和7年3月）＞ 約28.95億円

⑥ 情報収集活動

ア 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）との連携

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する同機構と連携を図りながら、各種スポーツイベント情報を収集した。

イ プライドリームス埼玉運営（PDS）との連携

埼玉県内トップスポーツチームとの交流及び連携を図るため、同団体の会計業務、情報発信を行った。

(2) スポーツイベント開催助成事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、16件（総額11,300,000円）を助成した。

(3) ウオーキングイベント開催事業

第14回さいたまーチ～見沼ツデーウオーク～

期 間：令和8年3月28日（土）・29日（日）

会 場：さいたま新都心及び見沼田んぼ周辺

コース：見沼田んぼ見沼田んぼ北ルート 30km・20km・10km/南ルート 20km・10km・5km/

主 催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般社団法人日本ウオーキング協会、
NPO 法人埼玉県ウオーキング協会
共 催：さいたま市、さいたま市教育委員会
参加者数：1 日目 3,643 人 / 2 日目 3,917 人 （大会運営役員等含む）

4) スポーツシュレ事業

① スポーツ施設運営事業

ア 大宮けんぽグラウンド S フィールド（野球場 8 面・テニスコート 10 面）の管理運営及びイベント利用のセールス活動を行った。

貸出実績：野球場 2,303 件（92,120 人）／テニスコート 3,653 件（36,530 人）
合計 5,956 件（128,650 人）

イ さいたま市の指定管理業務を共同事業体で受託し、その構成員として、広報や自主事業の実施など指定管理施設の運営の一翼を担った。

④ さいたま市与野体育館 令和 5 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日（4 年間）

スポーツ整体等を実施するボディケアルームのほか、ピククルボール体験教室、与野体育館卓球交流大会の開催、与野体育館バスケットボール交流大会等のイベントを実施した。

事業実績：スポーツ振興 4 事業・21 日程の企画・制作・運営

⑤ さいたま市大宮武道館 令和 5 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日（5 年間）

トップアスリートによる空手道講習会や体組成測定会・健康運動相談会、香川大吾選手を招いた ALSOK 柔道教室、キッズダンス発表会など、複数のコンテンツを配したスポーツフェアを実施し、地域の交流拠点となる事業を創出した。

事業実績：10 月 13 日（月・祝）大宮武道館スポーツフェアの企画・制作・運営

⑥ さいたま新都心公園 令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日（5 年間）

未利用時間のさいたま新都心公園の集会室を活用した、主にスポーツ教室や大人の部活動となるコミュニティ形成に資する事業、さらには北袋商工親和会と密に連携をとり、さいたま新都心エリアの「まち」の活性化に寄与する事業を実施した。

事業実績：スポーツ振興事業 3 事業

5 月 31 日（土）「北袋プレイ&マーケット」企画

② バスケットボール活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、バスケットボール環境の整備と競技力の向上を図る「バスケットファンプロジェクト」を行った。

実績：練習教室 2 回（参加人数 78 人）、シュートチャレンジ 1 回（参加人数 285 人）、
フリースロー体験 1 回（参加人数 250 人）

③ 女子サッカー等活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、女子中学生年代等のサッカーの活動場所等を確保するとともに、競技技術の向上や、心身の健康や成長を支える学びの機会を提供する「スマイルプロジェクト」を行った。

また、大宮国際中等教育学校における MOIS 特別会や、大会参加、交流試合に加え、市内高等学校女子サッカー部が行う部活動体験会について参加案内を行ったほか、女性指導者の育成に資する取組として、審判講習会への参加募集も行った。

実績：練習会 10 回、MOIS 特別会 2 回、大会参加 1 回、交流試合 2 回、部活動体験会の案内 3 回、参加人数延べ 300 人

④ テニス活性化事業

S フィールドテニスコートを活用した自主事業として定期的な主催大会を開催し、収益化を図る「S フィールドカップ」、「S フィールドリーグ」を行った。

実績：S フィールドカップ 20 回、参加人数延べ 1,573 人

S フィールドリーグ 33 回、参加人数延べ 1,426 人

⑤ アーバンスポーツ活性化事業

市民スポーツ実施率の向上及び地域住民の交流の創出に向けて、子育て世代の親子を中心にアーバンスポーツの体験機会の創出及びルール・マナーの普及啓発を推進するため、BMX、スケートボード、インラインスケート、ダンス等体験イベントや、スクールキャラバン活動、ルール・マナーの普及啓発業務を実施した。

実績：体験イベント 11 回 参加人数延べ 5,612 人、スクールキャラバン 6 回 815 人

⑥ さいたま市版 SOIP (Sports Open Innovation Platform) 事業

さいたま市をはじめ我が国が直面する社会課題の解決や、さいたま市における新たなコミュニティの創出、関係人口増加に寄与する価値創出を図り、スポーツ産業をはじめとする新産業の創出及び既存産業の活性化を目指す、さいたま市版 SOIP 運営事務局を実施。

令和 7 年度は、「女性が直面する社会課題」をテーマに、企業等からの共創提案を公募し、採択した 4 件のプロジェクトについてアーリープロトタイピングを実施した後、中間審査を経て、株式会社 wagamama による「女性のパフォーマンスを最大化する体験型生理セミナープログラム」及び株式会社ダーツライブによる「スポーツダーツを活用したコミュニティ形成」の 2 件について、次年度以降の社会実装に向けたフルプロトタイピング及び実証実験を行った。

あわせて、令和 6 年度に採択した浦和レッドダイヤモンズと合同会社ジービックによる「試合実施時のカーボンオフセットを目指すモリリング育成事業」及び RB 大宮アルディージャと株式会社 SAL による「平日スタジアム活用活性化に向けたスポーツ学童事業」について、事業開発の伴走支援を継続実施した。

⑦ アフタースクール事業

さいたま新都心公園の集会室にて、毎週 1 回、スポーツ教室、寺子屋教室の一气通貫のアフタースクールを開設した。基礎「体力」の向上とスポーツをする上での創造性・問題解決能力など「知力」を鍛え、心・知・体をバランス良く備える子供の育成を目指す。仲間・地域とのつながりを得られる環境づくりにも寄与した。

⑧ さいたまスポーツフェスティバル 2025 の開催

「スポーツのまち さいたま」としての魅力を、広く来場者に対して発信し、スポーツ体験の場を創出する「さいたまスポーツフェスティバル 2025」を、令和 7 年 5 月 31 日（土）、6 月 1 日（日）に、さいたまスーパーアリーナ コミュニティアリーナにて開催。弊社は、39 のスポーツやスポーツ関連コンテンツの事務局を担った。全体のイベント参加者数 12,500 人。

このイベントは、埼玉県内プロスポーツ団体「プライドリームス埼玉」の競技を中心とした子ども向けアトラクションや、アーバンスポーツ体験会の「アバスポさいたま」・ニュースポーツ・e スポーツ・ユニバーサルスポーツなどの体験を、各団体・民間企業によるご協力のもと実施するほか、チアダンスの大会や、フラダンスイベント、ブレイキン大会の大会参加型プログラムも実施した。

⑨ スポーツテック実証事業

（仮称）さいたまスポーツシュール推進施設に導入予定のスポーツテック機能について、同施設供用開始後の事業化を見据えた調査・実証を実施した。市民（マラソンランナー、市内小学生）やアスリート

(アカデミー選手) のフィジカルデータを測定・分析し、トレーニングメニュー等を提供。これによる、競技力の向上や行動変容に与える効果を検証した。

(5) さいたまクリテリウム開催事業

2025 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催

令和7年11月9日に、J:COM presents 2025 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムとして、さいたま新都心駅周辺を会場に、メインのクリテリウムレースをはじめ、タイムトライアルレース、一般参加体験イベントを開催した。

日 程：令和7年11月9日（日）

会 場：さいたま新都心駅周辺

主 催：さいたまクリテリウム組織委員会、一般社団法人さいたまスポーツコミッション

共 催：埼玉県、さいたま市、A.S.O.

特別協力：さいたまクリテリウム推進委員会

競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟

後 援：経済産業省、観光庁、スポーツ庁、自転車活用推進本部

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

プレゼンティングスポンサー：JCOM 株式会社

オフィシャルメディアパートナー：朝日新聞社、読売新聞東京本社

放 送：J:テレ/ど・ろーかる 11月9日(日)14:30～17:00

J SPORTS/J SPORTS オンデマンド 11月9日(日)14:30～17:00

YouTube ライブ配信 11月9日(日)11:35～17:30

(J SPORTS 公式アカウント)

BS 日テレ 12月7日(日)15:30～16:30

NACK5 10月25日(土)～11月8日(土)

内 容：①クリテリウムレース（海外招聘選手、国内選手によるレース）

②タイムトライアルレース

③コース及びイベント会場での一般参加体験イベント

④パートナー企業・自転車関連企業のPRブース

⑤賑わい創出イベント

⑥パブリックビューイング

⑦海外招聘選手との交流

来場者数：さいたま新都心駅周辺 約9.4万人

さいたままるしえ 約5.8万人

サイクルフェスタ 約1.7万人

協賛企業：49社

オフィシャルサポーター： ・レース満喫チケット : 17枚

・選手ふれあいチケット : 54枚

・ライダーズチケット : 27枚

・アリーナ観戦チケット : 910枚

・コース沿道チケット : 693枚

・コース沿道（グループ）観戦チケット : 16席

- ・スタートフィニッシュ観戦チケット : 30 枚
- ・法人サポートプラン : 60 口
- ・法人サポート VIP プラン : 4 口

広告換算値 : 全体:約 15 億 2,300 万円 (国内:約 2 億 5,000 万円、海外:約 12 億 7,300 万円)

経済波及効果 : 全国:約 39 億 1,500 万円、県内:約 12 億 3,000 万円、市内:約 11 億 200 万円

(6) 自転車文化醸成事業

自転車乗り方教室・安全教室

自転車を補助輪なしで乗ることにチャレンジする子どもを対象にした自転車乗り方教室・安全教室及びキックバイク体験を市内 10 区で開催し、延べ 390 人の参加をいただいた。また、同日開催したキックバイク体験も延べ 121 人の方に参加いただいた。市内のプロロードレースチームであるさいたまディレーブに委託し、地域密着感を推進した。

申込者 450 人

(7) ランニングイベント開催事業

さいたまマラソン 2026 の開催 (中止)

令和 8 年 2 月 8 日に、国内最大級の多目的アリーナ「さいたまスーパーアリーナ」周辺を発着点とし、マラソン初級者も上級者も、子どもも大人も、家族と一緒に、仲間と一緒に、誰もがスポーツを楽しみ、誰もが参加できる、市民マラソン大会として、フルマラソンを開催する予定であったが、降雪のため中止となった。

同日開催イベントとして、さいたまマラソンフェスティバルをけやきひろば内で開催予定であったが、降雪のため中止となった。

期 日 : 令和 8 年 2 月 8 日 (日)

会 場 : さいたまスーパーアリーナ及びけやきひろば (メイン会場)

駒場運動公園 (8 km の部フィニッシュ会場)

内 容 : フルマラソン、チームラン、親子ラン、車いすラン 等

主 催 : さいたま市、一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般財団法人埼玉陸上競技協会

共 催 : さいたま市教育委員会、公益財団法人さいたま市スポーツ協会、

さいたま市スポーツ推進委員連絡協議会、さいたま市レクリエーション協会

後 援 : 埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市自治会連合会、さいたま商工会議所、越谷市、越谷市教育委員会、越谷市体育協会、埼玉高速鉄道株式会社、埼玉新都市交通株式会社、東武鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社大宮支社

主 管 : さいたま市陸上競技協会

※一部の種目を「さいたまマラソン in 埼スタ」と称し、関連イベントとして開催

開催日 : 令和 7 年 11 月 23 日 (日・祝)

会 場 : 埼玉スタジアム 2002

協賛企業 : 29 社

【さいたまマラソン 2026】 申込者 / 参加者数 (中止)

- ・マラソンの部 15,337 人 / -人
- ・8km の部 1,564 人 / -人
- ・車いすの部 (800m) 26 人 / -人

- ・エンジョイランの部 (3km) 733 人 / -人
- ・エンジョイランの部 (1.3km) 289 人 / -人
- ・親子ランの部 (1.3km) 1,831 人 / -人

【さいたまマラソン in 埼玉】 申込者 / 参加者数

- ・ペアランの部 (1.2km) 1,320 人 / 1,148 人
- ・4時間チームラン 一般の部 (1 周 1.2km) 991 人 / 936 人
- ・4時間チームラン スイーツの部 (1 周 1.2km) 304 人 / 300 人

(8) 事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。